

全国の舞台で優勝を

城北少年剣道クラブ順道館所属の2人が全国大会出場を報告

7月2日、城北少年剣道クラブ順道館に所属する、やまかわはるき 山川陽毅さん(ひばりヶ丘)とよねだ ゆづる 米田優弦さん(南八久保)が、コーチとともに来庁しました。

第60回全国道場少年剣道大会への出場を報告した2人は、「全国大会で優勝します!」と力強く意気込みを語りました。2人の堂々とした姿に、町長からも「優勝を目指して頑張してほしい」と激励の言葉が送られました。



笑顔で全国大会出場を報告した山川さん(左)・米田さん(右)

第4回多文化共生連絡会議を開催しました 多文化共生のまちづくりを進めます

7月31日に第4回目となる多文化共生連絡会議を開催しました。会議では、外国人住民の居住状況や書類・ごみ分別表などの多言語化のほか、昨年12月から開始した「菊陽町やさしいにほんご」での情報発信について紹介しました。

関係機関とも課題を共有し、今後は多文化共生センターを拠点に、日本人も外国人も共に学び、交流できる多文化共生の取り組みを推進していきます。



会議には地域生活に密接する関係機関が参加しました

未来を担う若き声

中学生議会を開催しました

8月5日、子どもたちが町の政治に関心を深め、まちづくりの担い手となることを目指し、昨年度までの「子ども議会」から名称を改めた「中学生議会」を開催しました。令和8年熊本地震の影響で開催が懸念されましたが、災害に強いまちづくりには若者の声が不可欠との判断から、関係者の尽力により予定どおり実施しました。当日は菊陽中学校と武蔵ヶ丘中学校の代表生徒11人が参加しました。「第7期菊陽町総合計画」に掲げる将来像「ともに 輝き 成長しつづけるまち 菊陽」の実現に向け、菊陽町の未来を考える貴重な機会となりました。

代表あいさつ抜粋 私たちは中学生議会に向け、町の現状と課題を調べ、理解を深めてきました。私たちの発言に、大人が真摯に耳を傾ける姿勢に触れ、ふるさと菊陽町への誇りが深まりました。この貴重な学びを一過性とせず、これからも政治に関心を持ち続け、大きく成長する町を将来支えられる存在となるよう、日々努力していきます。



議会を終えて笑顔を見せる中学生議員



代表あいさつをする
中学生議員
(菊陽中学校 相馬結さん)



議員席から質問へ向かう
中学生議員

海上自衛隊東京音楽隊菊陽公演開催

極上の音色と歌声に感動

7月1日、図書館ホールで菊陽町図書館ホール芸術文化公演「海上自衛隊東京音楽隊菊陽公演」が開催されました。本町出身の植田哲生隊長の指揮のもと、素晴らしい演奏を披露しました。会場に響き渡った演奏は、驚くほどクリアで一音一音が洗練されていました。マンボNo.5では躍動感あふれるリズムと演出で会場内は一体となって盛り上がりました。圧倒的な歌唱力で披露された「宇宙戦艦ヤマト」の素晴らしい歌声は、ホールいっぱいに力強く響きわたりました。



圧倒的な歌唱力「宇宙戦艦ヤマト」



「マンボNo.5」のユーモアあふれる演出



美しく響く歌声「祈り」

力を合わせて全集中!

第8回菊陽町子ども会アジャタ大会

7月5日、第8回菊陽町子ども会アジャタ大会が町総合体育館で開催されました。アジャタとは公式競技の玉入れのことで、100個の玉を約3メートル上のかごの中に入れるまでの時間を競うスポーツです。

今大会は18チームが参加し、総勢136人が出場。予選では、チームごとに3回のタイムトライアルを行い、ベストタイムを出した上位3チームが決勝に進み、見事「チーム馬場A」が優勝に輝きました。「チーム馬場A」からは、「6年生最後の大会で優勝できてよかった」と喜びのコメントがありました。

運営にはジュニアリーダーも協力し、バルーンアートを作って参加者にプレゼントするなど、大会を一層楽しい雰囲気彩ってくれました。

【大会結果】

- 優 勝：チーム馬場A(馬場子ども会)
- 準優勝：緑陽台エメラルド(緑陽台子ども会)
- 3 位：三里木ウィナーズA(三里木子ども会)



優勝した「チーム馬場A」 チーム



力を合わせて
玉を投げる子どもたち



バルーンを渡す
ジュニアリーダー